

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和4年5月20日

埼玉県と春日部市、イオンモール春日部が連携し、 「SDGs 17の目標をワークショップで学ぼう」 を実施します

埼玉県は、県民や企業、NPO、大学、金融機関、各種団体など多様なステークホルダーとの協働を通じてワンチーム埼玉で「埼玉版SDGs」を推進しています。

その取組の一環として、埼玉県と春日部市、イオンモール株式会社 イオンモール春日部（本社：千葉県千葉市、代表取締役社長岩村康次様）が連携し、「SDGs 17の目標をワークショップで学ぼう」を実施します。

本イベントは、「ゴール1. 貧困をなくそう」と「ゴール2. 飢餓をゼロに」について学べるワークショップと、SDGsの概要やフードロス削減について学べるパネル展示の2本立てとして実施します。さらに、埼玉県が開発したスマートフォンアプリ『S³（エスキューブ）』とタイアップしています。



1 内容

(1) 実施期間

令和4年5月28日（土曜日）10時～17時

「ゴール1. 貧困をなくそう」～バナナペーパーで動物を作ろう～

令和4年5月29日（日曜日）10時～17時

「ゴール2. 飢餓をゼロに」～食事バランスガイド立体コマを作ろう～

(2) 実施場所

イオンモール春日部 1F 藤の広場

(〒344-0122 埼玉県春日部市下柳 420-1)

(3) イベント概要

ア 「ゴール1. 貧困をなくそう」～バナナペーパーで動物を作ろう～

ゴール1「あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ」について、フェアトレード※の観点から学んでいただくことを目的としています。

バナナ畑で捨てられた茎の繊維をもとに、質の高いバナナペーパーを作成しました。そのペーパーを利用して、動物たちのペーパークラフトを作るワークショップを実施します。（先着 100 名様）

※フェアトレードとは、開発途上国で生産された原材料や製品を適正価格で売買し、生産者の生活改善と自立を目指す貿易の仕組みのこと。

イ 「ゴール2. 飢餓をゼロに」～食事バランスガイド立体コマを作ろう～

ゴール2「飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する」について学んでいただくことを目的としています。

「食事バランスガイド」イラストを模した立体コマづくりのワークショップを実施します。（先着 100 名様）

ウ SDGsに関するパネル展示

SDGsに関する内容等を紹介するパネルを展示します。

エ 埼玉版SDGs推進アプリ『S³（エスキューブ）』とのタイアップ

ワークショップに参加していただき『S³（エスキューブ）』をダウンロードした方（同伴者も可）は、会場に設置した二次元コードをアプリから読み取ると、50ポイントが付与される仕組みとしています。



オ フードロス削減に関するパネル展示

春日部市のフードロス削減に関する内容や同市広報紙6月号の特集記事「農産物の地産地消」を紹介する内容のパネルを展示します。

2 問合せ先

- ◇ SDGsワークショップ（「1. 貧困をなくそう」、「2. 飢餓をゼロに」）に関すること
イオンモール株式会社 イオンモール春日部 担当：阿南・野上
電話：048-718-3003
- ◇ SDGsのパネル展示、『S³（エスキューブ）』に関すること
埼玉県企画財政部計画調整課 総括・SDGs推進担当 濱畑・佐藤
電話：048-830-2133
- ◇ フードロス削減に関するパネル展示に関すること
春日部市総合政策部政策課 SDGs・政策推進担当 池田
電話：048-736-1111